

第3回安曇野市環境審議会 会議概要

1	会議名	第3回安曇野市環境審議会
2	日時	平成29年8月31日(木) 午前9時30分から午前11時58分まで
3	会場	本庁舎 共用会議室 306
4	出席者	環境審議委員 14名

5	市側出席者	市民生活部 宮澤部長 環境課 久保田課長、蓮井係長、藤森係長、土屋主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1名
8	会議概要作成年月日	平成29年9月6日

協 議 事 項 等

(進行表)

【諮問式】

【審議会】

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 審議・報告事項
 - (1) 第2次安曇野市環境基本計画【骨子案】について
 - (2) その他
4. 閉会

【議事】

- (1) 第2次安曇野市環境基本計画【骨子案】について

<環境課から説明>

<質疑>

(委員)印刷の関係だと思いましたが、12ページの青枠内の文章が途中で切れています。

(事務局)修正します。

(委員)和暦と西暦が併記されていますが、元号が変わるのは間違いないので、西暦を前にした方が連続性を保てて良いのではないのでしょうか。

(環境課)ごもっともなご意見ですので、検討させていただきます。

(会長)3ページの温暖化の関係ですが、目標を達成できているのか理解しにくいいため、評価方法を教えていただけますか。

(環境課)市内の電力消費量と中部電力の発電にかかわるCO₂の係数、総発電量から算出しています。ただし、中部電力が消費電力の公表を控えることもあり、今後どうしていくか検討が必要です。

(会長)注目していながら目標が達成しているか理解しにくいことなので、何かしら考えておいた方がよろしいかと思います。

(会長)6ページの里山再生計画に関して、松枯れは注目されていますが、どのように評価してい

て、これからどうしていくということが市民にはまったく理解できていないというのが、一般の意見だと思います。評価に関し、もう少し具体的な説明があると、これからの 10 年計画がうまくいくのではないかと思います。

(環境課) 字数の関係もありますので、どこまで記載できるか検討させていただきます。

(会 長) 11 ページにごみの排出量の記載がありますが、県の出している数字と比較できないと安曇野市が努力していることが伝わらない。県の資料と同期できる行を作成していただくか、そういう計算方式に変更することなどを考えていただきたい。

(環境課) 11 ページは当初の平成 19 年度の基準値をベースとした数値になります。59 ページは県のチャレンジ 800 の数値になります。数値の取り方がかわったため、当初とチャレンジ 800 の数値を比較すると一見してごみが増えているように見えてしまいます。新しい指標値には県が公表する数値を使用しています。

(委 員) 14 ページの図について、市民に分かりやすくすることが大切ということで、より詳しく環境にかかわる個別計画を知りたいという場合、資料 1 のようにまとめられていると分かりやすい。図中の個別計画に※印などをつけ、詳細は資料 1 や資料編を見るとよいという補足説明があるとよい。

(環境課) 資料 1 は説明用に作成した資料のため、環境基本計画に入れる予定はありません。個別計画がどのようなものかについては、字数の関係もありますが、資料編やコラムなどを作成し、そちらを参照していただくというようなことは検討させていただきます。

(委 員) 2 章の環境と現状について、この 10 年間で新たに発生してきた課題や問題などのうち、重要度の高いもの 5 つくらいを教えてほしい。そういったものが今後 10 年でどう変わるかも一つの指針になりますし、市民に聞かれた場合に説明しやすくなると思います。

(環境課) 第 1 次の計画と比較してピックアップし、どういう変化があったかということを強調するかたちで第 2 次計画に記載したいと思います。

(委 員) 17 ページの「蒸発霧」は、「蒸発霧(川霧)」としていただいた方が分かりやすいと思います。また、24 ページに、「北アルプスを源流とする河川は、南から梓川、黒沢川・・・」とありますが、黒沢川の源流は北アルプスの前山になると思いますので、北アルプスを別の表現に変えるか、黒沢川を消すか、良い方法を考えていただきたい。26 ページには、「安曇野市内の標高は、その差 2,400m(497m～2,922m)・・・」とありますが、497m は生坂村との境界の犀川、2,922m は大天井岳などと場所を書いていた方が親切だと思います。最後に、36 ページの地下水の年代の件ですが、10～15 年で本当によいでしょうか。何か良い表現を検討していただきたい。

(環境課) 解説を入れるなど、表現を検討します。

(委 員) 転入してきたときに 50～60 年かけてきた水を飲んでしていると聞き感動した記憶があります。環境基本計画には、水は大切なものということを伝える役割もあると思いますので、より良い表現をお願いします。

(委 員) 22 ページから 23 ページに間伐や里山の荒廃の関係の記述があります。大分では間伐材が流れて被害がでました。山をきれいな状態にしておかないと、ああいった災害が起こることも考えられますが、安曇野市はそのあたりをどうお考えですか。書けることがあるのであれば、計画に記述していただきたい。

(部 長) 耕地林務課と調整させていただきます。

(委 員) 23 ページに松くい虫の被害についての記述があります。他市では公害調停なども起きてい

るようですが、空中散布についてはどうお考えですか。住民の理解を得つつ、当面は実施していく方針でよろしいのでしょうか。

(部長) 将来的にどうしていくかは、まだ模索状態と言えます。担当部署に構想を聞いてみたいと思います。

(会長) 20 ページの商店数や商品販売額の推移では、減少が目立ちますが、コンビニや大型店など、外から入ってきた企業も数値に計上されていますか。

(環境課) おそらく入っておりますが、再度確認します。

(会長) 37 ページのダイオキシンは、現在はほとんど騒がなくなりましたが、10年、20年前はどういう数値で現在はどう変化したかということを書いていただいた上で、今はこういうかたちで努力しているという記述をしていただけると良い。関連して、野焼きに関する記述があったかと思いますが、家庭ごみの野焼きが問題であって、農家の野焼きがすべて駄目ということではありませんので、表現を検討していただきたい。

(委員) 20 ページの観光地利用者数について、インバウンドの占める割合又は数値を入れていただきたい。今後10年をみたときに、外国人の占める割合も一つの指針になると思います。

(会長) 43 ページの公共施設への自然エネルギーの導入状況について、件数だけでなく、エネルギー量がどう変化しているかを表などにすると、皆が努力していることが分かって良いと思います。

(会長) 46 ページの「あづみん」の利用者数について、地域別の利用状況が分かるようにしていただきたい。三郷地域はどこに行くにも豊科で乗り換えが必要で苦労していますので、地域差があるのではないのでしょうか。

(委員) 42 ページに温室効果ガスの総排出量 65 万 t-CO₂との記載がありますが、一般の方には二酸化炭素換算と表記した方が分かりやすいのではないのでしょうか。

(委員) 2章は現状の説明ということですが、ヒアリやマダニなど、今後危なくなるかもしれないものについて、どんな対策をしたら良いかなど一項目作ると市民も安心して暮らせるのではないのでしょうか。

(環境課) ヒアリに限りませんので、もし記載するのであれば、31 ページあたりで検討します。

(会長) タンポポは在来種と外来種の数がすでに逆転したと聞きますが、だからといって特段どうということもないように思います。外来生物については根絶を目指すのか、現状維持又は放置して共存していくのか、今後どう進めていくのでしょうか。

(環境課) 各区での駆除活動など、他市と比べて積極的に活動をしていただいております。当課としても今後も一層取り組んでいきたいと考えております。

(委員) 計画の中に入れるのは難しいかもしれませんが、外来生物についての考え方、またそれ以外のことについても、より詳しく知りたい場合に、何を参照すればよいか分かってよいと思います。

(委員) それについては、字数を増やせるのであれば、コラムで注目を引く手があると思います。

(委員) 59 ページに「ごみを少なくする」についての現状値と目標値が示されていますが、40 ページや 11 ページにもごみに関するグラフや表があります。分散していると見にくいので、一括して数値化ではなくグラフ化していただくと分かりやすいと思います。また、県は西暦が前で和暦が後のことが多くなっています。どちらが良いということではありませんが、分かりやすいよう工夫をお願いします。それから、目標がどういうエビデンスに基づいて立てられているのか、どこにポイントをしばって実施したいのか、1点か2点ごみの関係や下水道普及率などの数値化できるものについてグラフ化すると分かりやすくなると思います。

(環境課) 検討して分かりやすくしたいと思います。

(委員) 個別目標5の「生きものをまもる」は、駆除対象の特定外来生物も生き物なので、他の表現を考えた方がよいでしょうか。

(環境課) 4章に外来種の悪影響のことや保護すべき種のことなどの記述がありますので、個別目標のタイトルはこのままでいきたいと思います。

(委員) 公害苦情が多様化していますが、58 ページの公害苦情件数の目標値を 222 件に設定された根拠を教えてください。

(環境課) 悪臭、騒音、空き地など苦情の内容を確認したところ、悪臭に関しては臭気指数規制を行っており、2割ほど減らせる余地があるのではないかと、また割合より具体的な数値で表した方が分かりやすいのではないかと、222 件に設定しています。

(委員) 58 ページの「山岳地をまもる」、「里山をまもる」、「里地のまもる」の指標を再考する余地はないでしょうか。山岳地で問題となっているのは登山道の荒廃などと思いますが、それに対する指標が「山岳に関するイベントの参加者数」で守れるのか、里山も記載のある2つの指標で守れるのか疑問があります。また、「里地をまもる」の指標に可能であれば「鳥獣被害の減少」のことを追記していただきたい。10 年先を見たときに鳥獣被害は増えていきそうなので、指標として積極的に対策を講じていただきたい。

(環境課) 山岳地の関係で市が直接かかわる事業は少なく、イベントで啓発を行うということで参加者数を指標としました。鳥獣被害については、担当課と相談し、追加できるか検討します。

(会長) 「里山をまもる」の指標「里山学校の年間受講者数」は、なぜ 100 人なのですか。

(環境課) 個別計画である「里山再生計画」で設定した指標になります。指標「安曇野材の年間利用実績」も同様です。

(委員) 里山の指標に、松くい虫のことも入るとよいと思いますが、数値化しにくいのでしょうか。

(環境課) 鳥獣被害については、アンケートでも行政に期待する施策の上位でしたので、結果は反映しなければならぬと考えています。里山・里地については、担当課と検討させていただきます。

(委員) 指標の目標値は、市民全員、また国や県を含めた数字ではないかと思いますが。資料1に各取組の担当課がまとめられていますが、その担当課は実際には市内の色々な施設や市民団体、庁内の他部署と関連して活動していると思いますので、そういったことも市民に情報提供できると良いと思います。これだけたくさん取組を行政だけで行うのは難しいので、計画への参画を促すということも含めて、資料1のようなかたちで関連や連携が分かるようにまとめ、計画内で見られるようにした方が良いのではないのでしょうか。

(環境課) 4章の各取組にも担当課名の記載がありますが、今後は消していく方向で考えておりました。先日の環境基本計画推進会議でも消さない方がよいというご意見を伺っておりますので、検討させていただきます。

(委員) 組織や課名が変わることもありますので、ホームページでの情報提供や内部資料として残していく方法もあると思います。

(委員) 10 年計画のはずですが、目標が5年でよいのでしょうか。

(環境課) 計画期間は10年になります。現在策定中の上位計画である総合計画が、数値目標については5年としていることから、それにあわせて5年の目標値としています。また個別計画で別途定められているものは、その年度を優先しています。

(会 長)5年ごとに見直すという文章になっていますので、10年の目標をたて、5年後に見直すという解釈になるのではないのでしょうか。10年の目標値があつて、途中の5年の目標値があるなら構わないですが、10年の目標値がないのはおかしいと思います。

(部 長)総合計画をはみ出して10年先の目標値を書くことはできませんので、総合計画が5年に変更した根拠をきき、それに基づいて表現するようにいたします。

(委 員)個別目標のところに資料1や58ページに記載の現状値や目標値を入れないのでしょうか。分散していると見にくいと思います。

(委 員)一部の数値目標の達成だけで個別目標が達成されたことにはならないと思いますので、参考的な指標として別にしたままの方が良いと思います。

(委 員)市民には資料1・2の計画名や担当課名は関係ないと思いますが、一緒にするという意見を尊重するならば、資料1・2のような表を別に1枚市民向けに入れるのはどうでしょうか。

(委 員)目標値は、市民や関連する団体、国、県の取組は入っていない状況だと思いますので、今の段階では別にしておいた方が良くと思います。また、課名などは市民には関係ないといったお話もありましたが、これこそ重要で、どこの課で実施し、どこに相談したらよいか市民に分かるよう情報公開した方が良くと思います。

(環境課)整理して分かりやすくなるよう検討します。

(委 員)指標値は今後増えるのでしょうか。今後10年間、この指標値の達成を目標に取り組むのでしょうか。

(環境課)指標値については、基本的これで行きたいと考えています。数値で表すことが難しい施策も多く、それらについても積極的に取り組んでいきたいと思っています。

(委 員)本来は、取組すべてに、いつまでにどこまで実施するかということが必要ではないか。

(環境課)計画体系のお話をしますと、環境基本計画をもとに環境行動計画を作成し、重点取組のうち進捗管理できるものについて数値目標を設定して重点的に取り組みます。

(委 員)58ページの指標のところに、そのようなことを記載できないのでしょうか。

(環境課)これからご説明する5章の推進体制に説明がある事項になりますので、それを踏まえたうえで記載すべきかご検討いただきたい。

(委 員)行動計画が5年であるのであれば、なおさら基本計画は10年の目標値でよいのではないのでしょうか。

(会 長)いずれにせよ、10年計画なのか5年計画なのか、項目がどうなのかなど、これを見れば分かるというように連動関係・相互関係を明確にしてください。

(委 員)行動計画は具体的に行動するプランニングであり、基本計画の下に入ることが分かるような記述をしていただき、10年の目標を立てられないため5年間の目標として行動計画があるというかたちが落とすところではないのでしょうか。

(委 員)10年先の見通しは不安定ですし、総合計画があつてのことですので、ここで事務局に聞いても難しいと思います。我々が見ただけでも指摘がでるということは、大勢の市民に見られたときはより多くのご指摘をいただくことが考えられますので、少なくとも総合計画との関連がわかる注釈が入るように調整をお願いします。

(委 員)61ページに「高山帯へ進出してきた動物への対策を行う。」とありますが、既にモニタリングなどの対策を講じていないと高山帯以外から進出してきたか動物か明らかにすることはできません。それ

だけの予算の裏付けと覚悟がおありでしょうか。

(環境課) 耕地林務課の施策になりますので、対策費用や何年計画かなどを聞き、次回ご説明できるようにします。

(委員) 77 ページにダイオキシンのなどが環境基準を満たしているとの記述がありますが、満たしている場所は市庁舎なのか、市全体なのか、あるいは焼却施設の近くでしょうか。

(環境課) 37 ページの環境の現状を受けての記述になります。

(委員) 括弧して 37 ページ参照などの記述をお願いできればと思います。

(委員) 83 ページに「住宅用太陽光発電の効果を検証する。」とありますが、具体的にはどう検証される予定でしょうか。

(環境課) 補助金を交付した対象者への調査を考えています。

(会長) それに関しては、件数だけでなく、どれだけのエネルギーが出ているかをデータ的に作っていただきたい。

(委員) 88 ページに「地域の清掃活動などを通じて、より多くの方が環境保全活動に参加できる機会・・・。」との記述がありますが、地域の清掃活動にかかわる人と自主的な参加が求められる環境保全活動への参加者が同一だとは、私は理解していません。このような文言でよいものでしょうか。

(環境課) 文言を検討させていただきます。

(会長) 公園の面積を増やしただけでは意味がないと思います。子どもの遊び場などとして活用される方法を検討していただきたい。

(委員) 81 ページの「分別を徹底する。」は、事業者にも関連することですので、事業者の欄にも該当を意味する☆印をつけていただきたい。

(会長) 78 ページの「ごみの野焼きを行わない。」を「家庭ごみの野焼きは行わない。」に変えることはできないでしょうか。

(環境課) 家庭ごみ以外を燃やす場合がありますので、廃棄物処理法を確認し表現を検討します。

(委員) 庁内調整会議での各課との調整は大変そうですので、環境にかかわることを横断的に取り扱う課を創設できないでしょうか。

(環境課) 横断的な課の作成は難しいと思います。

(部長) 環境への取組を進めるにあたり、一つの課だけで完結できることは少なく、色々な部署との連携が必要になります。必要に応じてプロジェクトなり調整会議などで連絡調整を図りながら、きっちりと進めてまいります。

(会長) 時間の関係もありますので、その他のご意見などありましたら、1週間くらいのうちに事務局まで連絡をお願いします。

(2) その他

<環境課から前回の質疑に回答>

<安曇野環境フェア 2017 のご案内>

閉 会